

21・老福連
第12回職員研究交流集会
ニュース創刊号



うらじゅ

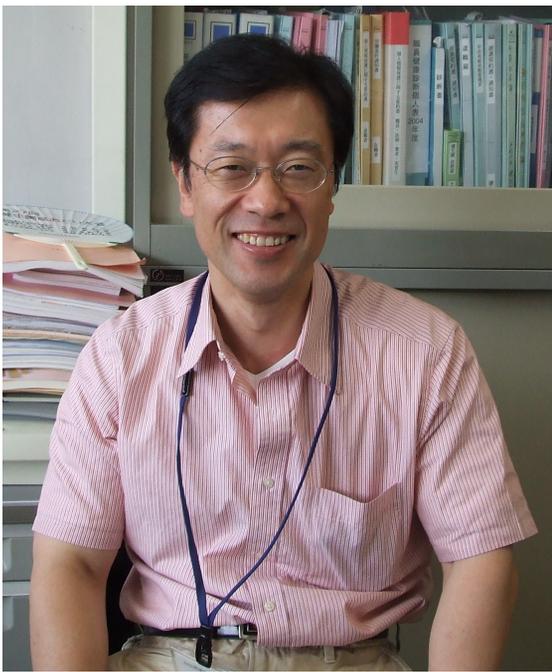
発行 21老福連第12回職員研究交流集会
実行委員会広報担当
住所 岡山市東区西大寺浜2-1
電話 086-944-2266

★実行委員長あいさつ★

2011年4月26日の午前7時、私を責任者とする当法人の東日本震災支援団が仙台に向かいました。微力ながらも9日間、現地で活動させていただきました。あれからちょうど一年です。大地震・大津波・原発事故、未曾有の三大災害時だからこそ社会保障・社会福祉にもとめられるものはどうあるべきかを昨年の山形集会から引き継ぎ、この思いを「いまこそ福祉復興宣言」というテーマとして、今回の岡山集会でも考えていきたいと思えます。

私たち(特別養護老人ホーム健生園)は第4回の広島集会に実行委員として参加して依頼、毎年この職員研究交流集会へは実践報告を持って参加してきました。全国の様々な実践から学び交流することは私どもの施設の実践に大きな影響と励みをいただきました。この研究交流集会に育てていただいたと思っております。

島根・広島の実行委員の方々を合わせて、一人でも多くの高齢者福祉に携わる全国の仲間が希望をもちより、元気を持ち帰れる「21老福連第12回職員研究交流集会 in 岡山」となれますよう実行委員長としての任を果たしていきたいと思っております。是非とも多くの方々のご参加を、晴れの国岡山にてお待ちしております。



実行委員長 竹永徹
(特別養護老人ホーム健生園 施設長)

集会テーマが決まりました!

いまこそ『福祉復興宣言』
持ち帰ろう希望、持ち帰ろう元気!

第1回目の職員研究交流集会の実行委員会が開かれたのは、雪がちらつく1月のことでした。昨年の開催地山形から大事なバトンを渡された岡山での実行委員会は、まだ、集会のイメージも湧かず右往左往する実行委員会の幕開けでした。

2月、3月と実行委員会を重ねていくにつれ交流集会への思いが高まり職員研究交流集会の柱である集会テーマについての話し合いの中では、30以上のキーワードを出し合い集会への思いを語り合いました。どのキーワードも気持ちを前向きにさせる言葉であったり、このテーマで全国の仲間と話し合いたいという課題であったりと、冬から春に向け木々が芽吹くように集会へのイメージが膨らんでいきました。

「震災や原発を忘れないようにしていきたいね」「帰る時、気持ち明るく元気に帰っていける集会にしたいね」「介護保険の改定でみんな苦労をしているよね、交流したいね」「去年の講演の看取りについてもっと深めていきたいね」 実行委員みんなの気持ちを集会テーマに込め老福連の参加施設の職員の皆様に呼びかけます。——いまこそ『福祉復興宣言』持ち帰ろう希望、持ち帰ろう元気!

実行委員会事務局長 狩野理依





第12回職員研究交流集会プログラム

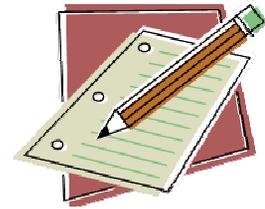
開催日時 12月8日(土)～12月10日(月)

開催地 岡山県岡山市 (会場等は次号でお知らせします)

1日目 全大会 (基調報告、シンポジウム等)

2日目 分散会、交流会

3日目 講演会



「岡山」ってどんな所?

今回は、開催地「岡山」がどんな所か簡単にご案内します。みなさんはどんなイメージをお持ちですか?



岡山県は中国山地と四国山地に挟まれ、瀬戸内海にも面しており、温暖で快適な土地として知られています。また、降水量1mm以上の日数が日本で最少の県であるため、「晴れの国おかやま」とピー

ールをしています。

岡山の代表的な特産フルーツは、桃太郎にちなんだ「桃」と「マスカット」です。甘みが強くとてもおいしいですよ!



フルーツ以外の食べ物では、B級グルメで有名になった「蒜山焼きそば」「津山ホルモンうどん」「ひなせのカキおこ」でしょうか?その他にも沢山美味しい岡山ならではの食べ物がありますので、交流集会の合間に食べ歩きをしてみたいかがでしょうか?

観光地もたくさんありますが、会場から行きやすい場所は、岡山城と日本三大名園の一つに数えられる「後樂園」があります。美しい庭園を眺めながら、お抹茶ときびだんごでいっぷく。疲れた体に癒しを求めてみては?

その他、少し移動が必要ですが、一足伸ばして倉敷美観地区、児島のジーンズバスめぐりもおすすめです。書き出せばきりのない、楽しい街「岡山」。皆様のお越しをお待ちしています。



♪晴れ晴れ大空吉備の国～うらじゃ うらじゃ う～ら～じゃ～♪

『うらじゃ』な話

昔話「桃太郎」の基になった古(いにしえ)より岡山に伝わる「温羅(うら)伝説」。

“うらじゃ”は「吉備津彦命」桃太郎と「温羅」鬼神」との戦いを描いたこの伝説から生まれました。“うらじゃ”は、毎年8月の第一土曜と日曜に岡山市中心部で開催されている祭りです。踊りを軸とします。岡山の地域・文化・歴史に根ざしたストーリー性のある市民参加型の祭りとして、年々その規模を拡大し、県内はおろか県外からも多くの踊り子が参加、岡山のまちに定着しています。(つづく)



イメージキャラクター
ももんじゃ〜

この度、研究交流集会をお手伝いすることになりました『ももんじゃ』です。「もも」と「うらじゃ」がまざりあって私が生まれました。みなさん、岡山に来てくださいね!楽しみにしています♡